

## 越前市 市議会本会議 中西議員の一般質問 平成 28 年 3 月 1 日（火曜日）

議長： 次発言順位 13 番 中西真三君  
中西真三君の一般質問に関し、資料をお手元に配布してありますので、ご了承願います。

中西真三君

中西議員： はい  
会派未来の中西真三です。通告に従いまして、一般質問させていただきますので、明確なご回答をたまわりたいと思いますので、よろしく願います。  
まず、昨年一般質問を

(発掘以外に関する質疑応答なので中略)

中西議員： 続きまして、埋設文化財調査の件につきまして質問します。  
現在調査中の旧図書館跡についてお尋ねします。  
現在、発掘調査をされている駐車場建設計画地の埋蔵文化財調査、どのようなものが発見されているのか、簡単に教えていただきたいと思います。

議長： 田中教育委員会事務局長

田中事務局長： えー立体駐車場を建設します第 2 第 3 庁舎跡地の文化財の発掘調査でありますけれども、昨年の 12 月 8 日から行っております。今回の発掘調査では、平安時代と戦国時代から江戸時代の遺構や遺物が発見されております。  
平安時代の遺構としましては、柱の穴が 15 カ所、やや大きめの穴が、5 カ所発見されておまして、えー須恵器などの遺物もわずかですが、出土しております。  
戦国時代から江戸時代の遺構は、柱の穴が約 100 カ所、瓦を廃棄した穴が一カ所、その他石垣が 2 カ所、井戸が 5 カ所発見されておりますが、遺物のほとんどは瓦でありまして、そのほかには若干の越前焼きなどの日常雑貨類が出土しております。  
遺構に関しましては、平安時代から江戸時代までの建物に伴います穴が多数発見されておりますが、図書館などの建設工事によりまして、すでに破壊されている部分が多くありまして、当時の建物の規模や、どのような性格の建物であったかなどは不明でございます。  
まだ、遺物の量も少なく、現時点におきまして、墨書土器などの国府関連の遺物は確認されておられません。以上でございます。

中西議員： 議長

議長： 中西真三君

中西議員： 議長のお許しをいただきまして、みなさんにこの資料を配布させていただきました。これは緒方議員のご協力をいただきまして、隣接する建物の屋上から写真を撮らせていただきました。黄色い角の緑が集まっている 旧図書館の柱跡であります。で、幸い運が良く、この旧図書館跡地のところから、江戸時代前、戦国時代の前田利家の府中城の石垣とされる石垣が出てまいりました。これが前田利家公の府中城の図面とされている資料であります。これは「武生の歩み」、合併前に時に奈良市長が巻頭言でお言葉をいただいておりますけれども、加賀百万石基礎が築かれた府中という形の中で、本多富正の前の時代の戦国時代の絵図 府中城 これは実証されてなかった、でも今回、この奈良市長が巻頭言いただいたこの資料、この雑誌「武生の歩み」の中にですね、この府中城の跡地の一角が、今回、こうした形で発掘された、という事実で

あります。大変貴重な貴重な越前市で初めての戦国時代の石積みであります。さらに、時代をさかのぼって、今ほど田中事務局長からご??がありましたように、攪乱してぐじゃぐじゃになっているところから、今回、平安時代の柱跡が出て参りました。

今日のある新聞に、こういう風に報道されました。この新聞のタイトルに「国府所在地解明に向けて光り」、「平安時代の柱穴発見」というふうに、大きな見出しで書かれました。

中心市街地でこのような発見がされたのは初めてだと、私は認識しております。あす、河濯川から西のほうにはありましたけれども、河濯川から東のほうで、こういうふうに、この程、田中局長が説明されたような、数多くの遺跡とともに発掘されたこの事実、大変貴重なものだという風に、私は思いますし、多くの市民もそう理解していただいているふうに思っております。

そこでですね、よく見ると越前府中、これは江戸時代のことですが、江戸、越前府中の文化が、ここに凝縮され、さらにさかのぼること平安時代の900年代、900年代の時の越前国府の文化がですね、この敷地の中から発見されたということです。

2つの大きな越前市の語るときに、越前市は越前府中といわれますし、越前国府といわれてます。1500年の歴史を持つ越前国府そして商いの街・商業の街としてですね、越前国府が、越前府中が繁栄した。越前、まっ旧武生と言って申し訳ないのですが、旧武生は違うねと言われてきているのが、そこにあるわけです。この越前国府と越前府中というものが、この地域から出てきた。私はね、大変な発見だと、これを我々がさらに深掘りし、深掘りというのは研究を深掘りという意味ですよ、埋設文化財をさらに調査し、さらに、ここの歴史はどんなんやったんやろ、そういったものを今一度やっぱり調べる必要があるんじゃないかな、そして、我々は1500年の歴史を持った今世代をになう責任世代として、先人の造られた、残してくれた越前国府さらに前田利家の時代の越前府中の石垣、こういったものをですね、しっかり責任を持って守り将来に伝える、こういうことが必要でないかな、というふうなことが、必要でないかなというふうに、思うのですが、いかがでしょうか、市長教えてください。

議長： 奈良市長

奈良市長： あ、先ほどの田中局長の答弁を、もう一度え一繰り返しを述べさせていただきますけれど、旧図書館などの建設工事によりすでに破壊されている部分が多く、当時の建物の規模や、どのような建物 性格の建物であったかは不明であります。また、遺物の量も少なく、現時点において、墨書土器など国府関連の遺物は確認をされておられません。これが教育委員会としての見解であります。

また、中西議員が平安時代の柱の跡が、初めて発見、確認されたことを、述べられておりますが、市ではですね、平成8年度から越前国府の関連発掘調査事業 これ教育委員会のほうですで行っております。え 市内で60カ所以上の調査を行った結果ですね、確実なもので10箇所 平安時代の柱の穴を確認をしております。特に、え 大規模な発掘調査としましては、武生中央公園内の え 中央図書館の場所、その周辺の発掘からも 平安時代の柱の穴を多数確認をしているということでございまして、今回のえ一調査がですね、私ども、特段新しいものが発見されたという報告は まったく受けていないところでございます。

中西真三： 議長

議長： 中西真三君

中西議員： であればですね、発掘された瓦に土器類、こういったものは、調査をきちっとされたのですか、教えてください。

議長： 田中教育委員会事務局長

田中事務局長： えー、発掘調査でありますけれど、えー、先ほど申しましたように、昨年12月8日から行っておまして、当初は1月末までの計画で約2ヶ月間予定しておりましたけれど、遺構ですとか遺物が多く出土しましたので、あるいは石垣の正確な記録を残すために、さらに期間を延長いたしまして、現在調査を行っているところでございます。

中西議員： 議長

議長： 中西真三君

中西議員： 長年の泥にまみれた土器類、また墨書土器等含めてですね、まだ、洗浄されていないでしょ、集めて、倉庫へ保管されているだけでしょ、そういったものの洗浄してきちっと、どういうものがあつたのか、あるのか分析されたのですか、もう一度お願いいたします。

議長： 田中教育委員会事務局長

田中事務局長： 今現在、調査中でございます。

中西議員： 議長

議長： 中西真三君

中西議員： 現在調査中に、まだわずかししか出ていない、そんな無責任な返答で良いのでしょうか。今回大量に出土した土器類、またその他からですね、瓦類もあるという風な話でありました。年代を特定でき？？る。そしてですね、まだ洗浄していないですよ。まだ雨の中、雪の中、集めてきただけ、今、倉庫においてあるだけです。そこから洗浄する中でですね、また、精査する中で、この敷地の、ほん隣接する西側から越前国府の跡の調査、墨書土器が発見され、そしてそこには国分寺、失礼、国大寺、国寺、大寺、こういった墨書土器が発見されているんですよ。ほん隣、ほん西側ですよ。敷地、接しているんですよ。今回、大量の出土品の中からですね、まだ、調査？終わっていないのにはですね、そんなたいしたことない、？？これは市民にとって申し訳ないんじゃないですか。教育委員会として、やっぱり責任を持って文化課がきちっと責任を持って調査し、そして、どのようなものが出てきて、どんな価値があるのか、少なくともこの地から、先ほど言いましたように、平安時代の柱跡が出てきた、越前の国府かもしれない、ま、国府なんでしょうけど、国衙かもしれない、国衙って言うのは国府時代の役所のあつたところですけど、国衙かもしれない可能性があるわけですよ。国府があつたことは間違いないですよ。平安時代の建物ですから。それと、さっき言いましたように1500年時代の前田利家 府中城のですね、石垣が出てきたということですよ。これを遺さずして、どうしますか。

今日の新聞によりますと、市まちづくり・交通対策課によると7月下旬の立体駐車場完成に向けて、工事計画に変更はない。これ、どういうことか説明してください。

議長： 浅野企画部審議監

浅野審議監： はい

あの一、今ほど、市長および教育委員会から答弁ありましたように、えー調査が終わりましたら、うちは工事に入らせていただきたい。調査終了を確認させていただいて、教育委員会が調査終了しましたよと、いうことであれば、工事に入らせていただくということでもあります。

議長： 中西真三君

中西議員： はい

調査が終了しました、調査ってはどういう調査ですか、教えてください。で、完了したっていうのは、どういうことなんですか、教えてください。

議長： 田中教育委員会事務局長

田中事務局長： えー、ま、現場で申しますと、教育委員会が現場の発掘調査を終えたことを確認いたしまして、調査終了の判断を行います。現場での調査の終了という判断を行います。

議長： 中西真三君

中西議員： 現場の調査、それはいつの時点で判断するのですか。それは教育長が判断されるのですか、市長が判断されるのですか、教えてください。

議長： 田中教育委員会事務局長

田中事務局長： えー教育委員会が判断いたします。

議長： 中西真三君

中西議員： はい  
教育委員会が判断するということですけども、改めてお尋ねしますが、今回の発掘調査は、開発という意味における緊急発掘調査なののでしょうか、それとも一般調査なののでしょうか、教えてください。

議長： 浅野企画部審議監

浅野審議監： はい  
えー今回の発掘につきましては、先の議会で、予算をお認めていただきまして、新庁舎建設事業の一環でございます。立体駐車場建設に伴う、今おっしゃいましたように、緊急発掘調査でございます。

議長： 中西真三君

中西議員： まあ、あの、緊急発掘調査ということで、所定の範囲以外は発掘しないということなのでしょう。でもね、この写真見ていただくと解るようにね、平安時代の柱跡が、それと大きい柱と、大木の柱跡と柱跡と、小さい柱跡、これまだ石垣もでてきた。石垣の法（のり）は道路にそって斜めにあります。また、先ほど言ったように、この西側の墨書土器が出てきた。国大寺、国寺というところの間も、残っております。こうした意味においてですね、市民の 1500、市民に越前市民に培ってきた 1500 年の歴史の平安時代の柱が見つかった国府、跡が見つかったとされる可能性が高いという意味においてですね、また、戦国時代の石積みが見つかったという形の中で、理解を深めるために、一般発掘事業としてですね、福井県と共同して、調査をされてはいかがでしょうか。教えてください。

議長： 田中教育委員会事務局長

田中事務局長： えー今回の発掘調査につきましては、今、ただいま、お答えしましたように、えー立体駐車場建設にともない記録保存のための調査でありまして、えー工事予定の敷地内の、お一ごめんなさい、工事予定の敷地内に限りまして調査を行っております。あの、まー文化庁が示します文化財保護行政のあり方につきましてはこう示されております。開発行為に伴う発掘調査の面積は、必要最小限での範囲での調査とする、とされておまして、工事の場所以外は、発掘調査をせずに現状保存をが原則とするとされておまして、今回の調査もこれに従って実施しているわけでございます。

中西議員： 議長

議長： 中西真三君

中西議員： それはおおむね民間でやれる場合には、民間事業者のご協力を得てやる。今回は越前市の土地ですよ、???違いますよ、また 1500 年の歴史がここに凝縮されているかもしれんのですよ。大発見かもしれんのですよ。調査すると、国府の跡の国衙かもしれんのですよ。そんなところで、緊急の発掘事業だといって部分的にやっちゃって、これ先ほど新聞に書いてあるとおれば、覆土してですよ、埋めたてして、駐車場を建てるために、駐車場建設するために、基礎工事するでしょ、今出てきている遺跡はぐちゃぐちゃにしてしまうということですよ。行政、そんなことしていいんですか。

もう一度お答えください。

議長： 中西議員に申し上げます。冷静に質疑を行われるように要望します。

田中教育委員会事務局長

田中事務局長： えー、まっ、先ほどお答えしましたように、遺構に関しましては、旧図書館などの建設工事などによりまして、すでに破壊されている部分が多く、当時の建設の規模や、どのような性格の建物であったかは不明ということでございます。なお、石垣につきましては、まだ調査をしてまして、埋め戻すといいいましょうか、保存する方向でござ

中西議員： 議長

議長： 中西真三君

中西議員： 図書館建てるときに十分調査すれば良かった??しなかった。でも今回、駐車場にするって形の中でね、出てきたわけですよ、生き残ったんですよ、越前市民、今の時代の人になんとか見つけてほしい、僕は残ってたんだと思いますよ。石垣も残ってたんだと思いますよ。通常これシートパイル まっH鋼打ったるわけですけど、この道路側の前田利家の府中?? 綺麗に石垣沿いにH鋼打ち込んであります。これはおそらく先人が、我々にそ?いわ?、あんたらた?残さんかったらあかんよ??どうするんだ、試されているんだと、思いますよ、我々の世代が。それだけ綺麗に遺っているんですよ。現地一回みてきてください。やはり我々の世代において、これをです、きちり、やっぱり関心もって調査する上に於いてはですね、今ほど緊急発掘調査という風なことをいわれましたけれど、福井県はこういった意味では、非常に深い造詣をもっておられて、文化財について、ほんとに朝倉、あれ見てくださいよ、どんだけ調査されています。立派ですよ。そういった意味においてですね、県も越前市が相談すればですね、一般調査に乗り換えましょう、一緒にやりましょうと、県は言ってくれますよ。また、そして、それよりも、願わくば県の事業費で調査しましょう、越前市は協力してくださいと言うかもしれません。一回働きかけをただけですか、教育長、教育委員長、教えてください。

議長： 中島教育長

中島教育長： はい

えーと今、緊急発掘か学術発掘??その、その時点だろうと思うんですが、たとえば全体の、あー、朝倉遺跡もそうですが、全体の全容ちゅうんですか、大まかな解っている場合には、そこから攻めていけるんでしょうけど、ここは今、市の、あーす?土地そのものなかでは、ほん一部で全体見えてないのが現状です。だから今、石垣においても多分に、こうつながっているかも解りません。で、ようは、あの一、ま、旧図書館を建てたときにもそうですよね、ほ本来なら、そうそのときにきちんとあつたらそのまま残っているんでしょう。ただども、どういう風に残していくんかというような所です。今、緊急発掘ちゅう?うにおいては、法に照らし合わせて、我々は記録保存し、その記録をきちんとちょう 報告書として、県のほうへあげていく、また、文化庁のほうへあげていくと、そういう手続きが我々に残されているところでもあります。

中西議員： 議長

議長： はい、中西真三君

中西議員： 我々に残されているっていう言葉がありましたが、そんなもんはありませんよ。緊急発掘調査の結果を受けて、県に我々越前市としてはこういうものが、出てきたんですよ、1500年の歴史の越前国府、または国衙跡かもしれませんよ、県の文化財保護委員に相談をしていただいて、現状において県の方に見に来ていただいて、そして、どうなんだろう、深掘りをし、さらに調査が必要かもしれない。県と連携していっぺん調査しましょう、またその上で、さっきみたいに、県が?県で単独負担でやりますけど、

予算つけますけど、市と一緒にやりましょう、こういう働きかけを、報告書じゃなくて、終わらすんじゃないで、調査を依頼していただませんか。これ、市長どうですか。教えてください。

議長：

奈良市長

奈良市長：

私ども、市長部局はですね、えー市の教育委員会が、県の教育委員会や文化庁の指針あるいは指導に基づいて、適切なしっかりとした調査をされているというふうに認識をしております。その調査が終わればですね、市の教育委員会のほうから、こう結果ですから、えー工事はOKですよという連絡があれば、それから、えー工事を進めると言うことで、私どもは、あの一別に工事スケジュールを、えー前提としてごさいません。だからして、先ほど田中局長が話がありましたとおり、調査の期間は延びております。それだけ、調査は慎重にやっているところでございます。しかしながら、あの一中西議員がおっしゃられた朝倉と違ってですね、あそこは田んぼだったんで、長い間、ここはずっとですね、かつてから中心街ということで、それはあの一そういう歴史的な、えー時代、たとえば府中城の造成時にも大幅に掘られていた、これ今日の新聞にも書いてございます。それから、あの一かつては検察庁だったと記憶しておりますし、現在の、えー市の、えー第3庁舎、これもとの図書館でございしますが、こういったものもありました。この工事の過程で、何度も何度もですね、破壊されている部分が多くて、当時の建物の規模や、えー性格などが不明であると、また現時点においては墨書土器などの国府関連の遺物は確認されていないという報告を受けてございますので、あたかもですね、あたかも、もうすでに、えーそういう報告と違うものが決定したかのような、おっしゃり方ではなくて、純粋に、単純に、冷静にですね、教育委員会の今の調査の結果を聞いていただいて、私どもはその結果を受けて、それを尊重しながら、えー事業を進めると言うことでご理解いただきたいと思ひます。しっかりと、市の教育委員会は取り組んでいますので、えー安心をしていただきたいと思ひます。

中西議員：

議長

おっしゃるとおり

議長：

なかに 中西真三君

中西議員：

文化課の現場の職員は、本当に真剣に調査をされております。本当に感心するほど、ふるさとを非常に愛しているんだなあと思うぐらい、ちがう、あい愛している故に、責任をもって発掘されておられます。心から感謝もうしあげたいと思ひます。でも、大量の雨水に、雨雪にまじれた発掘されたいろんな土器類、瓦類、これまだ全然調査してないんですよ、倉庫にいられたまんまですよ。先ほど言うたように、ほん隣のところから墨書土器が発見されているんですよ。その可能性があるわけですよ。だから私はちょっと興奮して、血圧も非常に高いんですけど、申し上げているんですよ。このときを無くして、どうしますか。1500年の歴史という形の中で、越前市は第一回国府サミットを開かれたんでしょ。そして順番にやってく、そして国府跡を発見しましよ、連携とって動いているわけです。第1回目が越前市で開かれたんですよ。市長、そのとき、きちっと挨拶されましたよ。私、お聞きしてます。やはり今回、越前、国府、という平安時代の柱跡が出てきた、それも破壊されて、ぐちゃぐちゃになりながら、発掘されてきてるんですよ。今？みなさんのお手元にある資料のとおり、これをもっと深掘りして、どういう形で、どんなものだったのか、高さはどんなものだったんだろうか、調査できますよ、今の科学であつたら。そうして、???,今年も開かれるサミット報告をする、していただいてですね、そのためにも先ほど何回も言ってますけど、緊急発掘調査でなくて、県と連携をとって一般発掘調査にさせていただいて、必

要なところは必要な場所として、きちっと調査をしていただく、その積み重ねの中で、分析をするということが大事だと思います。一方、前田利家、この府中城の石垣は事実であります。これ法面が道路のほうに、おりてきております。ならびに、私はですね、この際、道路工事をですね、していただいて、道路使用を制限していただいて、道路側から発掘調査をして、市民の協力を得て、一方通行で、時間帯一方通行で、十分話できると思います、現在H鋼のやつを2～3m東側へずらしていただいて、H鋼を打ち込んでいただく、か何かしていただいて、そしてこの石垣の法尻が何処まであるのか、どういう形態の石積みになっているのか、石は近隣から出てきている、前田利家が連れてきた石積み工が積んだ、これも世界、非常に日本では有名でありますし、金沢の石垣はそれで作られた、というようなことも、き聞いております。そういった意味でですね、道路の発掘をしていただきたいと思いますと思うのですが、道路側の発掘をしていただきたいと思いますと思うのですが、いかがでしょうか、教えてください。

議長： 田中教育委員会事務局長

田中事務局長： えーまず、あのー工事の施工場所でありますけれども、あのー調査でありますけれども、敷地の前面約 1.5m ほどを掘り下げておまして、まー本格的な、本格、えー本格的な発掘調査を行っております、まー発見されました遺物や遺構から判断いたしまして、これ以上掘り下げましても、砂利層、砂利層となるため、えーこれ以上深掘りをする必要はないものと、現時点で考えておりますし、あのー石垣につきましても、えー一现阶段では現状保存が一番であるというふうに判断をしております。

中西議員： 議長

議長： 中西真三君

中西議員： 砂利層だという発掘結果、でたのはいつですか。また、さきほど、まーそれ先にお答えください。

議長： 浅野企画部審議監

浅野審議監： えー今回の場所はですね、これもあのご報告していますけれども、あのー以前、試掘をしております。そのときは4mほど掘ってますので、そこで砂利が出ているということを確認してますので。

中西議員： 議長

議長： 中西真三君

中西議員： 前田利家が??の府中城の跡地の石垣が出ているところの法尻の試掘調査をされたということですか。もう一度お答えください。

議長： 浅野企画部審議監

浅野審議監： えー繰り返しですが、あの工事の範囲内の敷地の中の試掘を行っております。

中西議員： はい

議長： 中西真三君

中西議員： 工事の範囲内の敷地と言うことですから、現在発掘された石積みの法尻の発掘調査は、されていないというふうに理解してよろしいでしょうか。

議長： 浅野企画部審議監

浅野審議監： はい

しておりません。

中西議員： はい

議長： 中西真三君

中西議員： していないんですよ。だから調査をしてくださいって言ってるんです。で今回の調査は、まだご回答いただいてませんが、県と連携して一般調査で発掘調査をしていただく、これはこの方針をぜひやっていただきたと思いますけど、県とご相談していた

だけです。市長、これぜひお願いしたいと思います。

議長：

奈良市長

奈良市長：

あの一さきほど、田中局長、お答えした通りでありますけれども、教育委員会からですね、調査は敷地の前面を約 1.5m 掘り下げるなど、本格的な発掘調査を行っており、発見された遺物・遺構から判断して、これ以上掘り下げても砂利層となるため、調査をする必要はないと、こういう報告を聞いているところでございます。また石垣についてはですね、発掘調査の記録を残し、地中で保存することが最も望ましいと、こういう報告も聞いてございます。ですから、あの一教育委員会のほうはしっかりとしたですね、国の方針なり、あるいは県とのいろんなこれまで教育委員会としての蓄積の中で、一番いいというものを考えながら、その取り組みをしております。そういうことを受けて、私どもはしっかりとした教育委員会の調査をしていただいた上でですね、それを踏まえたうえでの事業に移るということでございますので、ご理解をたまいますようお願いいたします。

中西議員：

議長

議長：

中西真三君

中西議員：

まったく理解できませんね。先ほど言いましたように、前田利家時代の石垣の根元は、は？？？調査していない。一方、砂利が出てきている。ぜん？？調べてないですよ。この調査見て、砂利が出てきているっていうのは、この境界層のそこだけです。これは、掘った跡は、なんかの形で砂利を後から入れたやつというふうに私は聞いてます。また、是非ともですね、深掘りをしていただいて、これは、教育長、いっぺん県と相談してみてください。教育長、教育委員長でも結構です。どうですか、県と相談していただけますか。

議長：

中島教育長

中島教育長：

今出てきました、この一調査報告書、当然、あの一うちの文化財の保護委員さんと、相談していかなあきません。あの一うちの文化財の保護委員さんは、県と非常に近いところにありますので、いろんなアドバイスいただけるんじゃないかな。けども、そのあの専門の先生から聞いたところによりますと、だいたい、いまこういうような状態で、記録保存でっていうような形です。けども、あの一報告書そのものは、その膨大な量になりますので、あの一結構時間はかかってくると思います。けども今の時点においては、確かに埋め戻しで、地中の中に保存するというのが、あの一いし一石垣に関しては、一番にいい方法だと私は思っております。

中西議員：

議長

議長：

中西真三君

中西議員：

ぜひ、県とご相談いただきたいと思います。これ、しゃ写真撮った時に、水野和雄先生がたまたま来られました。すごい発見ですねと、私たち、小形議員も一緒にいましたけど、聞きました。是非、引き続き調査をお願いしたいと思います。もう一点、現時点で、ですけども、庁舎跡、市民せん 市民ホール、生涯学習センター、これはきちっと調査していただけますか、教えてください。

議長：

浅野企画部審議監

浅野審議監：

はい

えー現在の庁舎の敷地についても、発掘調査は、えー今のと同じですが、緊急調査になりますけれども、建築場所が決まりましたら、その建物の位置については、発掘調査をするという予定でございます。

中西議員：

はい

議長：

中西真三君



中西議員： 発掘調査をすることを強く要望しておきますけど、まっ、立体駐車場、昨年11月18日仮契約、そして、完成が7月29日というふうに聞いております。でも、教育委員会からきちとした報告がない限り、市長は、時間にこだわることはない、という風なお話がございましたので、きちとした調査をした上で、また、県とも相談の上で、適切な手続きの上で、次の仕事を進めていただきたいというふうに思います。

市長ね、越前市は、昨年、環境文化創造宣言をしました。そして、今、まさに今年予算の中で、式部像が元の復（元??）されます。コウノトリもちゃんとした計画?なります。産業もきちっと、今、今立の和紙を中心に、打ち刃物も、タンスも産業がきちんと育成されてきています。これ1500年の歴史の中で、今回、この地から越前国府、越前府中、特に越前国府の国衙を一所懸命探しているわけです。その可能性が出てきたわけです。是非とも、是非ともですよ、今、市長、英断を持って取り扱っていただきたい。これ過去（将来?）に置いて、あの市長、あれ壊してもたんや、ならんようにしてください。是非とも、あ??とき、あの市長やっぱり良かった。残して、多くの子供たちが、ここに見に来たときに、越前の国府、越前の府中の文化が目に見えて、文章だけじゃないですよ、自分の目で見て自分のふるさとに誇りを持てるような、そういう風な形で、ぜひ文化創造都市宣言にふさわしい街にしていきたいと強く要望して終わりたいと思います。ありがとうございました。

議長： 以上で、中西真三君の質問を終了～